

事業所における自己評価結果(公表)

公表：2022(令和4)年 9月 30日

事業所名 デイードジュニア札幌

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				今後の増員に向けて、スペースの確保や利用の仕方の工夫を行う。
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			車いす利用者の方への配慮の観点から、2022年10月にトイレの段差に着脱式のスロープの設置を予定している。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			今後、年に2回の評価アンケートの実施を予定し、業務改善を進める。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		実施に至っていない。今後、第三者機関による評価を検討する。
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				継続して、アセスメントの精度の向上に努める。
	⑩ アセスメントを通じて、子どもの特性、本人と保護者の意向を十分に把握しているか	○				継続して、アセスメントの精度の向上に努める。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				継続して、プログラムの充実化に努める。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○			課題やねらいについて、より細やかに保護者との共有に努める。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○				
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○				継続して、プログラムの充実化に努める。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○				
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在、該当するお子様が不在である。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			現在、該当するお子様が不在である。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在、該当するお子様が不在である。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○		今後、連携の体制を整備する。
	㉖ 公共施設の利用や地域文化を学ぶ活動を取り入れて、事業所外での活動の機会を提供しているか	○				
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		今後、参加を検討する。
保護者への説明責任	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉙ 必要に応じて、事業所内相談支援やペアレント・トレーニング等の支援を実施しているか	○				所内相談支援は継続的に実施している。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				今後より丁寧な説明のための研修を実施予定。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		保護者会等の開催は実績がない。今後必要に応じて検討する。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	㉞ 定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○				現在、諸行事に関する情報を随時お便り等で告知している。今後は、年間の予定について事前に情報発信を行う準備をしている。
	㉟ 個人情報に十分注意しているか	○				
	㊱ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		今後必要に応じて計画する。
非常時等の対応	㊳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○				随時、内容の見直し、新しいマニュアルの作成を行っている。
	㊴ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			現在、訓練の企画を行っている。
	㊵ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				定期的な外部の研修を受講している。
	㊶ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○			現在、該当するお子様が不在である。今後、必要に応じて組織的な決定と保護者の方との合意形成を行う。
	㊷ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○				飲食を伴う活動の際に、食物アレルギーの確認を行っている。今後必要に応じて、医師の指示書を元に対応する。
㊸ 日々のヒヤリハット事例を共有し、記録しているか	○				日々の会議等でスタッフ間での共有を行っている。今後、時系列に記録して事例集作成の準備を行う。	

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。